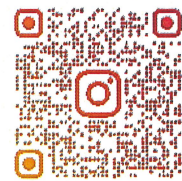


画: 久保 伊太郎

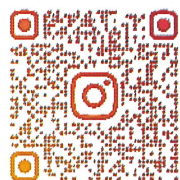
2024 - 2025



2024年度
FC 東京賞 授賞
久保庭伊太郎さん
『ハートレディ』



2024 年度
日本車いすバスケット
連盟賞 授賞
平野愛莉さん
『は-とうば-ん!!!!』



2024~2025

■写真で見るこの1年

■2024年度事業報告

- I. 生活介護「しごと場大好き」・分場「しごと場大好き国領」の運営……1
- II. 就労継続支援B型「しごと場大好き」・出張所「カフェ大好き」の運営……5
- III. 共同生活援助グループホームDAISUKI・ユニット「パンプキン」の運営……8
- IV. その他の事業・活動……10
- V. 組織運営……11
- VI. その他プロジェクト……12

■2024年度決算報告

- ・貸借対照表……13
- ・資金収支計算書……14
- ・事業活動収支計算書……16

■2025年度事業計画 ※2025年3月15日理事会承認時点

- I. 重点目標……18
- II. 生活介護「しごと場大好き」・分場「しごと場大好き 国領」の運営……18
- III. 就労継続支援B型「しごと場大好き」・出張所「カフェ大好き」の運営……22
- IV. 共同生活援助グループホームDAISUKIの運営……27
- V. 共同生活援助グループホームDAISUKI パンプキンの運営……29
- VI. その他の事業・活動……31
- VII. 組織運営……31

■2025年度予算

- ・予算内訳表……33

◆資 料

- 1年間の活動日誌……35
- 役員名簿……38

はじめに

今夏はこれまでの夏のイメージが覆される過酷な暑さの続く日々でした。「平年並み」や「例年のように」というお天気キャスターの常套句が影を潜めて「記録的な」「観測史上初めて」というような言葉が枕詞のように毎日聞かれるようになりました。

当然、メンバーのみなさんや職員の働き方にも影響が出ていて、熱中症が心配でなかなかポスティングや清掃等の外作業は思い切りやりにくい状況でした。これから、この気候があたり前になるのかと想像するとクラクラしてきます。(笑)しかし、一朝一夕にこの沸騰が温暖にレベルダウンするはずもなく、手を合わせて祈ってみても事態は変わりません。来年もこの暑さはやってくるものとして新しい過ごし方、やり方が求められます。

おそらく夏だけでなく年間を通して気候変化への対応が求められます。そして気候に限らずウィルス、Ai、物価高騰、キャッシュレスと様々な分野での変化も膨大で高速です。追い付く事が難しいと感じます。それでも変化に対応できなければ未来は望めません。目を見張るスピードはなくとも着実に変化をして行かなくては、そう考えさせられる夏でした。

そう思いながらも大きく変わらないこの年次レポートですが、各々が真摯に向き合った1年の記録です。ご高覧ください。

2025年10月

社会福祉法人 調布を耕す会

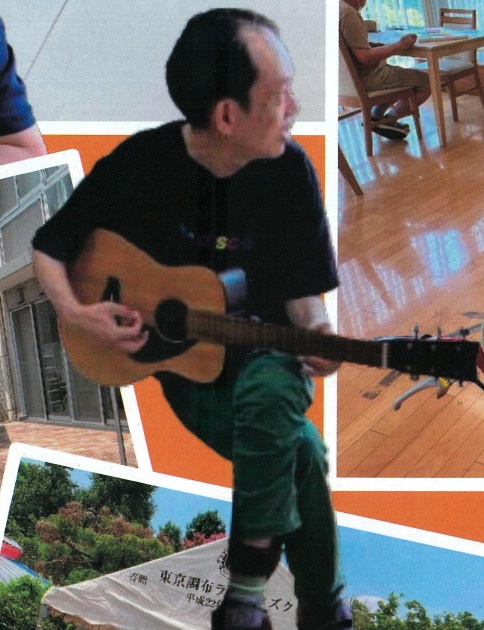
施設長 亀田 良一郎

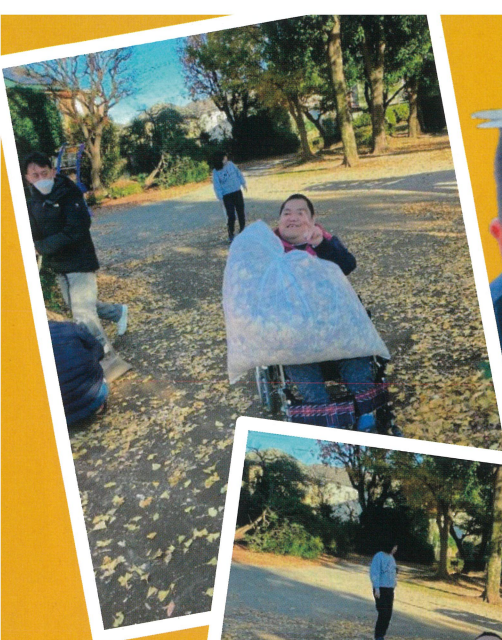


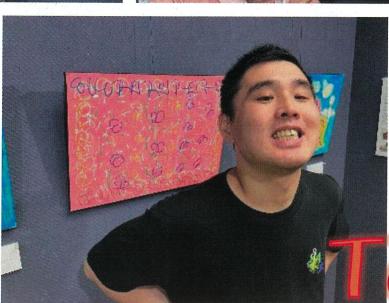
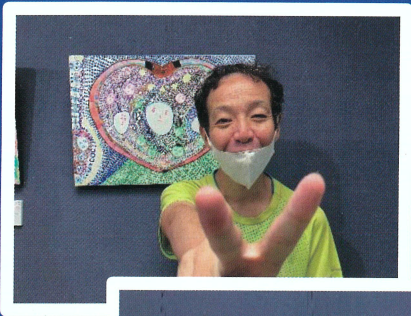
大好き♡

2024-2025









To be continued...

社会福祉法人調布を耕す会 2024年度事業報告

I 生活介護「しごと場 大好き」・分場「しごと場 大好き 国領」の運営

【生活介護「しごと場大好き」】

1. 事業運営

年度中盤にB型で1名、後半に分場の国領を担当していた職員2名の退職があり、多機能型事業所全体として新たな採用を行いながら職員配置が変わるという難しい状況がありました。新規採用に関しては、介護職種の人手不足が社会課題となっている中で困難さがありましたが、日頃の求人広告の3倍を超える経費をかけた結果、幸いにも必要人材の採用がかない結果的に若い職員が増える好循環に繋がりました。配置転換については、経験のない「場」を引継で担う形が多くなりましたが、職員間の協力と担当者の努力でメンバーへの大きな影響は見られず、想定よりもスムーズに体制移行する事が出来ました。

目標としていたICT化促進はアプリ使用で記録や日誌記入、勤怠管理の効率化が前進していますが、其々に求めている物との開きが感じられるため今後どのように進めて行くか整理が必要な所です。財政的には、今年度の報酬改定で新たな人員配置基準が設定された所に対応できた事から増収があり単独事業で黒字化となっています。

2. メンバー処遇

日々起こる事象の中で、起きている事の背景に何があるのかを探りながら丁寧に支援する姿勢は新しい職員にも伝わっています。総体的に良い支援実践が出来ていると感じられる一方で、メンバーの増加に伴うパーソナルスペースの確保や高齢化の課題は年々重要度を増しています。アセスメントを取り直して現在の障碍特性や身体状況に対応した個別支援計画への改編を少人数からでも取り組んで行きたい所です。

(1) 生活支援

日常の活動やリハビリを通して、利用者の心身の健康保持と機能の向上に努めました。

(2) 創作活動援助

利用者の意思や個性・特性を尊重した創作活動を行いました。

(3) ケース会議＊就労継続支援B型と合同開催

基本的に週1回の定期開催でしたが、人員配置の変更もあり中心となって進めるリーダーが不在の状況や時間外開催への抵抗感などが相まって開催頻度が減ってしまった。大切な打合せだけに無くす方向ではなく、より効率的な開催を模索していきたい。

3. 活動内容

(1) 日常生活上の支援を提供

ADL（日常生活動作）が未自立な利用者に対して、介護など日常生活上の支援を通して、身体能力、日常生活能力の維持・向上に努めました。ST、PT等専門職に関わっていただく中で日常の運動や補装具での改善が見られています。

(2) 創作活動の機会の提供

陶芸、組みひもなど従来の創作活動に加えて、引き続き芸術活動の時間を設け絵画制作に取り組んでいます。調布美術研究所からのお誘いで「げんきアート」という取り組みが2年目となりSNSでの発信や展示会も数多くなっています。

(3) 簡易受託受注事業

封入封函、ポスティング等、単発の仕事もメンバーには向いている事も多く、引き続き積極的に取り組んでいます。

(4) その他の事業

①社会体験活動（公共交通機関利用の実践／買い物実践）

年間を通して、毎週月曜日に社会体験に通ずる様々な活動を行いました。

②地域に根ざした活動（地域向けイベント／道路清掃）

昨年度復活した地域向けイベント（餅つき会、大好き市）等は今年も行われ好評を博しています。イベントでの新たな出会いから市民オーケストラとの関係が生まれ、ミニコンサートにご出演頂く等関係も生まれ地域との関係は広がりを見せています。

③受託事業（メール交換、散水清掃業務（駐輪場清掃）、クリーンセンター清掃、駅前清掃）

就労継続B型部門、国領と合わせ合同で取り組みました。メンバーはどの受託事業においても積極的に取り組み、それぞれに進歩が見られます。新たに郵便物の回収業務が始まっています。

④音楽療法（社会体験活動内）

今年度も、講師を招いて音楽療法を年5回行いました。クラフト製作と音楽の2グループに分かれた入れ替え制は、すっかり定着したスタイルとなって引き続き良い活動が来ています。

4. 防災計画

就労継続B型部門と国領合同で防災訓練を年4回実施しました。

6月 3日 地震による火災発生想定避難誘導訓練 2階からの車いす利用者避難、*レスキューマットを用いた車イス利用者の搬送。参加61名

9月 2日 総合防災訓練 地震による火災発生想定避難誘導訓練 消防署員による防災の学習会、消火訓練と家庭への通報から迎えを待つ引渡の訓練を実施。参加57名

12月2日 火災発生の避難訓練。参加61名

3月 3日 大地震発生想定防災訓練、家庭への通報から迎えを待つ引渡の訓練を実施。国領も含め全メンバーをご家庭まで送り届ける訓練としました。参加61名

◇また、今年度から家族との緊急連絡の習熟を図るために、NTTの「災害用伝言ダイヤル」を利用した通報訓練を奇数月の15日に継続的に実施する事としました。

5. 日 課

予定通りの日課を行いました。

6. 苦情相談

規定対応案件はありませんでした。

7. 第三者委員 *就労継続B型と合同開催

伊藤委員の「お話聞きますよ」が実施され職員、家族の悩み事が相談されました。

8. リスクマネジメント委員会

感染症対策を含め全てのBCPを完成させる事が出来ました。

9. みんなを守ろう委員会（虐待、拘束防止委員会） *B型、グループホームと合同開催

昨年度からグループホームの虐待防止委員会と合同開催とし外部からも委員に参加していただき、年4回の会議の他アンケート実施、分析。内部研修など虐待の芽を摘む取り組みを積極的に行って

います。

10. 職員

2名の退職職員があり例年に増して人員配置、人材確保に苦労した年となりましたが、職員間の協力があつた難しい局面を乗り越え、結果的には若い将来性のある人材が多く入職されるという好循環が生まれています。また、新たに東京都の住宅借り上げ制度を利用して3名の対象者に補助金が補助金が支給されています。

11. 研修 *就労継続B型と合同実施

今年度もリモートタイプの研修受講システム「サポーターズカレッジ」に継続加入して取り組みました。設定されたテーマの受講後に職員全体で学びを共有するためのグループワークも行い引き続き好評で良い学びの機会になっています。しかし、やはり日々の勤務時間内での受講時間の確保が大きな課題となっています。

12. 運営資金

昨年度は単独事業として赤字が残る結果となりましたが、今年度はメンバーの増員と共に、報酬改定の中での新しい人員配置基準に沿う形が取れた為に、一定の増収があり人件費や物価の高騰がある中で、単独事業として若干の黒字となる結果となりました。

【生活介護 分場「しごと場大好き 国領」】

1. 事業運営

・小規模ならではのアットホームで行き届いた支援の提供で順調に運営されていた所でしたが、各々の事情で年度後半に運営を担っていた2名の職員が揃って退職するという想定外の事態がありました。配置転換と共に新たな人材の確保、業務の引継と慌ただしく新しい形を作る事となり、新たに担う職員には苦労の多い状況となりましたが、引継の職員と共に見事に重責を果たしこれまでのアットホームな良い所を残しつつ新しい体制を作ってくれました。通所メンバーも新しい体制に大きく崩れることなく状況を受け入れて適応力の高さをを見せてくれています。そうした中で、新年度を迎える際に新しいオーナー（オーナー死去に伴う新オーナー）より新規の賃貸契約更新は結ばない意向である旨の通達があり受け入れる事となりました。2026年12月までの賃貸期間となり移転場所を探す事となります。

2. メンバー処遇

年度後半に新しい体制となり環境が大きく変わりました。これまで日々関わっていた職員が居なくなり多くは接していなかった職員が中心となって、新しい職員と共に日々活動する状況となりましたが、個々に向き合い丁寧に支援する形は維持されたためか想定以上に落ち着いて体制変化に適応し特別な情緒の乱れも無く過ごしてくれました。個々の適応力の高さに驚かされます。今後は確かな信頼関係を構築しながら新しい活動へも挑戦していきたい所です。

3. 活動内容

(1) 生活支援

日常の活動を通して利用者の心身の健康保持と生活機能の向上に努めました。

(2) 創作活動援助

利用者それぞれの特性や個性を活かした創作活動（紙すき・ミサンガ・シルクスクリーン・キーホルダーなど）を提供しました。

3. 活動内容

(1) 日常生活上の支援を提供

ADL（日常生活動作）が未自立な利用者に対して、支援を通して身体能力や日常生活能力の維持向上に努めました。

(2) 創作活動の機会の提供

牛乳パックや排紙リサイクルの手すきコースター、合皮を使ったキーホルダー、外国のコインを使ったミサンガなどのアクセサリ、シルクスクリーンでプリントした手ぬぐい、オリジナルの人形などを制作し「カフェ大好き」やキッチンカー、創造農園さんのカフェ「空と大地と」、「総合福祉センター」にて販売も行いました。

アクセサリ作家からの依頼によるフリンジ制作も引き続き行っています。

(3) 簡易受託受注事業

しごと場大好きと分け合いながらポスティング等の仕事に積極的に取り組んできました。

(4) その他の事業

① 社会体験活動

以前行っていたコミュニケーションの発展形として日々の感想や予定を伝え合う時間を設けてコミュニケーション方法を学んでいます。

② 地域に根差した活動

事業所周辺の道路清掃を行っており通りがかる近所の方々とコミュニケーションをとる機会にもなっています。お花屋さんから無料でいただいた季節のお花を事業所の前に置き、無料お持ち帰り「どうぞのお花」の取り組みは継続して行われました。リピーターの方からプレゼントを頂いたり声を掛けていただいたり新しい地域との関係も生まれてきている所です。お花屋さんとの関係のある職員が居なくなり新たなプランを模索している所です。

③ 運動

P T指導による運動、花見など季節を感じながらのウォーキング、公園にて積極的に遊具を活用するなど心身を整えられるような取り組みをしました。毎週金曜日には体重測定を行っています。

④ 調理実習・みそ汁作り

毎週木曜日に調理実習を行い、それ以外の曜日も毎日みそ汁作りをしています。メニューはメンバー会議で決めた内容で今年度は家庭でも作りやすいメニューを心掛け、家での手伝いに繋がるような活動を意識しました。

4. 防災計画

しごと場大好きと合同開催

5. 日課

予定通りの日課を行いました。

6. 苦情相談

特別な相談はありませんでした。

7. 第三者委員

しごと場大好きの相談会に参加しています。

8. リスクマネジメント委員会

しごと場大好きと合同開催

9. みんなを守ろう委員会(虐待防止)

しごと場大好きと合同開催

10. 職員

基本2名の職員配置で職員状況によりしごと場大好きとの連携で職員間の移動を実施しました。

11. 研修

しごと場大好きと合同実施

12. 運営資金

しごと場大好き分場として運営しています

Ⅱ 就労継続支援B型「しごと場大好き」・出張所「カフェ大好き」の運営 【就労継続支援B型「しごと場大好き」】

1. 事業運営

職員1名の退職がありました。生活介護部門同様に、介護事業所退職者の影響から人員配置、職員採用に難しい面がありました。財政的には、メンバー1名の増員と報酬改定による新たな人員配置基準に対応できたことで増収となり余裕ある運営となりました。調理部門は製造能力が向上してイレギュラーな個別の注文にも余裕をもって対応できるようになり安定していましたが、駅前工事や人員配置変更による外販の休止、一時期の人員不足の影響で売り上げは伸び悩みました。それでも、受託部門、喫茶事業、自主製品部門と各部門で収益が上がり就労支援事業全体では増収となり工賃のアップに繋がっています。

2. メンバーの処遇

メンバーの1名増員がありましたが、スケジュールにのって先輩たちと取り組める方でスムーズに活動参加しています。多機能型事業所としての人員配置変更は活動の仕方などにも変化をもたらす場面がありましたが大きな混乱もなく安定した処遇を提供する事が出来ています。作業面では駅前工事の影響もあってジェラートの外販が出来ず菓子類は減収になりましたが、新しい受託作業への参加、携帯トイレの委託販売や芸術活動での収入など新たな収入も見られ昨年に続いて就労収入が増収となり平均工賃が35,000円の水準に達しました。

(1) 生産活動援助

菓子製造、ジェラート部門での職員の雇用が安定し、担当メンバーのスキルが上がった結果、生産が安定しイレギュラーな大量の受注にも応えられるようになっていきます。しかし、材料費や資材の高騰、に加えてジェラートの外販が無くなり菓子製造はやや昨年比減収となっています。

(2) 生活指導

利用者の立場に立って、心身の健康保持と機能の向上に努めました。

(3) 職業訓練指導

日々の活動の中で、就労に必要な知識及び能力の向上に努めました。

3. 生産活動内容

(1) 受託事業

地域貢献に繋がる調布市関連の委託事業を通して、仕事に対する誇りと責任を培いました。特に施設外就労となっているクリーンセンター清掃については、週2回の実施日には引き続き大変意欲的に責任をもって取り組んでくれています。また、今年度から施設メールの後に市役所の郵便物を郵便局へ配達する新しい仕事に取り組んでいます。

(2) 自主製品事業

陶芸、組みひもについては、常設での販売確保が難しい中で今年度も「福祉まつり」、「市役所販売会」、「パルコ前販売会」などのイベント参加で売り上げに繋げています。数少ない常設販売では東京都設置の「KURUMIRU」での販売が運営会社の協力もあり年々売上実績が向上しています。

(3) 喫茶事業

駅前商店街での喫茶店（カフェ大好き）、福祉ショップの営業を通して地域の方々と触れ合いながらやりがいをもって働いています。コロナが明けて昨年100万を超える増収のあった所ですが、今年も引き続き順調に業績を伸ばし始めて年間で800万を超える収益がありました。就労支援収入の向上に大きく寄与しています。

(4) 食品加工事業

カフェ大好きでの販売食品（カレー、スープなど）の製造、クッキー、シフォンケーキ、かぼちゃプリンなど焼菓子の製造、加工、販売。ジェラートの製造、加工、販売を行いました。喫茶事業の好調があり伴って降ろしている製品の提供で忙しくしていました。年度後半に退職職員に合わせた人員配置変更によって担当者が不在の大変な時期がありましたが関係職員間の協力で乗り越える事が出来ました。材料や資材の高騰は仕入れ経費に大きな影響が出ています。

(5) ケータリングカーでのジェラート・菓子販売

調布駅前のケータリング販売は、6月上旬迄調布駅前での販売が可能でしたが、再び開発工事の為に販売出来ず、総合福祉センターのロビー（若草ショップ）を作業所連絡会の1事業所としてお借りして販売しました。しかし、年度後半は退職者による人員配置変更の為に外販担当者が喫茶のフォローに入る為外販を休むこととなりました。伴ってジェラートの売上も昨年の売上に届きませんでした。

4. 防災計画 *生活介護と合同実施

生活介護部門と国領合同で防災訓練を年4回実施しました。

5. 日 課

予定通りの日課を行いました。

6. 職員

職員1名の退職に伴って新たに職員を採用しています。

7. 研修 *生活介護と合同実施

8. 運営資金

メンバーの増員、報酬改定による新たな人員配置基準への適応、メンバー出勤率の向上等のプラス要因が重なり単独事業として余裕の持てる黒字となりました。

9. 第三者委員 *生活介護と合同開催

今年度は第三者評価の年でした。NPO 人材開発機構の全調査を受けています。全メンバーの聞き取り調査をはじめ事業所聞き取り調査、家族、職員へのアンケート調査も行われました。家族調査では調査員に驚かれるほどに高評価を頂いて大変嬉しい結果でしたが、職員調査では働き方や労働評価への不満が多く改善が必要な所です。

10. リスクマネジメント委員会 *生活介護と合同開催

11. みんなを守ろう委員会 *生活介護と合同開催

【出張所「カフェ大好き」】

調布市多摩川5-7-4京王多摩川88ビル1F

1. 事業運営

新店長となって二年目の年となりました。職員の出入りの多かった年でもあり、カフェに新たに入る職員も多く、変化の多い一年でしたが全体で協力して安定した運営をすることができました。備品関係では経年劣化もみられ、開店当初から使っていたガス台を新調することがありました。

(1) 事業活動

①喫茶事業（喫茶店の営業）

安定した営業ができ、前年度費 105%増の売り上げとなりました。月の売上目標を達成できた時に支給する「大入り袋」も、昨年は4回支給でしたが今年度は5回支給できました。メンバーのモチベーションアップにもつながっています。

施設設備として、開店当初から使っていた業務用ガス台を新調しました。

②福祉ショップ事業

継続して市内福祉作業所の手作り品を展示販売しました。しごと場大好きのカラフトフェアや、しごと場大好き国領の作品をたくさん見て頂けました。

③地域交流事業（展覧会/講演会等）

月ごとに展示が変わり、市民の方々の作品発表の場として有効活用していただきました。今年度は新たにちぎり絵のグループ展が開催されました。

(2) 利用者の処遇

職員体制の変化が多い年でしたが、メンバーが落ち着いて仕事に関わることができました。その中で新たな作業に取り組むなど、成長もみられました。また、メンバー職員が協力して、長年の懸案事項だった接客マナー動画が完成しました。これから積極的に活用していきたいと思います。

(3) メンバー会議

しごと場大好きの日曜日の取り組みに、共に参加しました。

(4) 広報・情報提供活動

①ホームページを活用して、カフェ大好きの展覧会の情報等を発信しました。

②フェイスブックとInstagramでの発信を継続して行いました。担当職員が日々の様子や外販の様子もこまめにアップし、日に日にフォロワーが増えています。

2. 運営・管理

(1) 運営

出張所として、適正な運営を行いました。

Ⅲ 共同生活援助グループホームDAISUKI・ユニット「パンプキン」の運営 【共同生活援助グループホームDAISUKI】

1. 事業運営

事業開始14年目にあたる2024年度は、入居者5名生活支援員2名世話人4名でスタートしました。指定共同生活援助の提供にあたっては、利用者が地域において共同して自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて、入浴・食事等の支援・相談その他の日常生活上の援助を適切かつ効果的に行ってきました。また、利用者が住み慣れた地域で、豊かに愉快地ゆうゆうと暮らし自己実現できるようにそれぞれに応じた支援を提供するとともに人間性を尊重した事業運営に努めてきました。2023年度からの内装工事が、2024年4月に竣工を迎え、引き渡しを受けて、新しいグループホームDAISUKIの建物に引っ越しをしたうえで、2024年6月初めから、移転定員増でのスタートをきりました。新しいメンバーの方々にも、少しずつ慣れて頂き、グループホームでの生活が、定着してきています。定員増をしたことにより、夜勤二人体制を目指して、男性職員を1名雇用しました。(11月)

2. 利用者の処遇

利用者が少しでも自立に向けた経験を積んでいければと、準備・片付け・掃除・洗濯・配膳・下膳等、日常生活に必要なスキルを自主的に取り組めるように働きかけてきました。食事・入浴の提供及び衛生管理・金銭管理も日常的に行いました。これにより洗濯機の使い方や洗濯物の干し方・お米の研ぎ方・下膳・小遣い帳記載等が良い習慣として身につけてきているとの報告があり継続して続けています。利用者のご家族からのご要望もあり、土曜日の開所を月1回から開始して3年目になりました。(第三土曜日)

3. 事業内容

- (1) 利用者に対する相談として、随時面談を行いました。
- (2) 食事、入浴の提供は、日々行ってきました。平日の夕食は、クッキングハウスさんに委託して提供して頂きました。年に数回程度、販売されている惣菜・お弁当等も取り入れました。また、入浴の介助を随時行いました。
- (3) 健康管理として、口腔ケア(歯磨き・ブラッシング等)の援助を随時行いました。
- (4) 金銭管理の援助として、小遣いを預かり出納を管理しました。
- (5) 職場、家庭等関係者への連絡調整等生活に必要な援助として、主に担当者が連絡調整を行いました。
- (6) 一人暮らしを望んでいる元利用者に、随時相談として面談を行いました。また、関係各機関との連絡調整を行いました。

4. 防災計画

DAISUKI防災計画を作成しました。避難訓練は、未実施です。防災関連用品を購入し、水を備蓄しました。

5. 苦情解決

苦情対応規程に基き苦情受付担当および苦情解決責任者を置き、周知をしましたが、実際の苦情はありませんでした。

6. 利用者から受領する費用

経費は次のように定めて、

食費 平日（朝食 300 円、昼食 300 円、夕食 800 円）休日（昼 300 円、夕食 800 円）

家賃月額 62,000 円、 光熱水費、日用品費、雑費など実費。

経費は毎月、食費は利用に応じて、請求（翌月第四土曜日まで）を行い、利用者保護者から振込をして頂きました。

7. 職員

令和6年4月末に、ベテラン職員（世話人1名）の退職がありました。令和6年11月に世話人（男性）1名を新たに採用しました。

8. 資金計画

今年度は、運営費について、おおむね運営資金で賄い、適正な運営ができました。

【ユニット「パンプキン」】

東京都調布市染地2-27-6

1. 事業運営

事業開始7年目にあたる今年は、入居者5名、生活支援員5名、世話人4名で、スタートしました。指定共同生活援助の提供にあたっては、利用者が地域において共同して自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて、入浴・食事等の支援・相談その他の日常生活上の援助を適切かつ効果的に行ってきました。また、利用者が住み慣れた地域で、豊かに愉快地ゆうゆうと暮らし自己実現できるようにそれぞれに応じた支援を提供するとともに人間性を尊重した事業運営に努めてきました。人的な体制としては、やっと安定してきて、変わらずに運営ができるようになってきました。ただ、グループホームの支援を統一する必要がある、夜の職員打ち合わせに担当者が出向いて、共有事項を伝達したり、月1回のグループホーム運営委員会で、課題解決に向けた取り組み、改善案などを検討の上実施をするようになって2年目となっています。引き続き、支援の統一に向けて改善案を進めていく方向で進めていきます。

2. 利用者の処遇

利用者が、少しでも自立に向けた経験をできるようにと、食事の提供及び食事の介助、衣類の着脱の見守り及び介助、入浴の介助、トイレの介助等を行ってきました。集団生活でのルールを取り決めたり、安心してそれぞれのメンバーが過ごせるように約束事なども守れるように支援を進めています。

3. 事業内容

- （1）利用者に対する相談として、随時面談を行いました。
- （2）食事、入浴の提供は、日々行ってきました。平日の夕食は、食事づくり担当職員が調理を行い、提供して頂きました。また、入浴介助担当職員が、入浴の介助を随時行いました。
- （3）健康管理として、歯磨き・ブラッシング等の援助を随時行いました。
- （4）職場、家庭等関係者への連絡調整等生活に必要な援助として、主に担当者が連絡調整を行いました。

4. 防災計画

パンプキン防災計画を作成しました。避難訓練は、年度内に一度開催しました。防災関連用品を購

入し、水を備蓄しました。

5. 苦情解決

苦情対応規程に基き苦情受付担当および苦情解決責任者を置き、周知をしましたが、実際の苦情はありませんでした。

6. 利用者から受領する費用

経費は次のように定めて、

食費 平日（朝食 300 円、昼食 300 円、夕食 600 円）休日（昼 300 円、夕食 600 円）

家賃月額 61,200 円 光熱水費、日用品費、事務用品費、雑費などは実費を受領。

食費は利用に応じて、請求（翌月 10 日まで）を行い、利用者保護者から振込をして頂きました。

7. 職員

年度の途中での退職はありませんでした。

8. 資金計画

今年度は、運営費について、おおむね運営資金で賄い、適正な運営ができました。

9. 短期入所「パンプキン」

今年度は本格稼働の年でしたので、年度の前半（7 月）から、ショートステイを月に 3～4 名の利用で行ってきました。ショートステイ未利用の方々にも、見学や面談を行い、新たな利用へとつながる方もいました。

IV その他の事業・活動

1. 障害者の社会参加を支援する活動

（1）交流活動（年間を通して随時） 餅つき会

2025 年度 2 月 1 日（土）

しごと場大好き 駐車スペース及び 1 階、2 階

参加者：約 158 名

昨年に続いての開催となった餅つきですが、お天気にも恵まれ、例年並みの大勢の来訪者が参加され、にぎやかな餅つきとなりました。

2. 広報・情報提供活動

（1）会報の発行等

法人の事業・活動を広く知らせるとともに関連情報を提供する為、調布市内外の関係機関・団体、協力者、助成団体、マスコミ、特別支援学校 P T A などに配布しました。

偶数月年 6 回、毎号 650 部発行

発行月	発行No.	主な内容
4月	187	イイね！こんな居場所「まごじばモーニング食堂」、こぶしの会だより「きょうだい」
6月	188	イイね！こんな居場所「はちみつルーム」、こぶしの会だより「日々の積み重ね」
8月	189	イイね！こんな居場所「えんがわ文庫」、こぶしの会だより「娘はたのもしい相棒」
10月	190	イイね！こんな居場所「やまぼうし」、こぶしの会だより「人とのつながりを大切に」、しごと場大好き国領：活動紹介
12月	191	イイね！こんな居場所「スナック都ろ美」、「GH1年を振り返って」
2月	192	イイね！こんな居場所「野川のえんがわ こまち」、こぶしの会だより「ここがおすすめです!!」、しごと場大好き国領：活動紹介

(2) 情報提供活動

年次レポートを予定通り発行することができました。長年の課題である法人のパンフレットはいまだ未作成のため、早い時期の取り組みが必要です。

3. 市民参加型事業・活動の開発と企画・実施

- (1) 「それはおしゃれなコンサート」は会場を年度中に抑えることができずに、次年度送りになりました。

4. 協力・連携事業

- (1) 文化的活動の実施

実施できませんでした。

- (2) 他団体等への支援・協力活動の実施

実施できませんでした。

V 組織運営

1. 組織運営

- (1) 理事会、評議員会の開催

「しごと場大好き」「カフェ大好き」「しごと場大好き国領」「グループホーム DAISUKI」「ユニットパンプキン」を運営する体制を整えるとともに、各種事業、活動を円滑に進めるため、組織運営の確立を図るよう努めました。

理事会の開催 6回 評議員会の開催 2回

- (2) 事務局の確立による事務処理の円滑化

事務局会議を 定例で月 1 回開催し、運営上の課題について検討を重ねました。会計については、取引のある税理士事務所が変更となって2年目で、税理士さんと年間を通して、月々の確認を行ってきました。

- (3) 市民の参画を得るための委員会の確立

幅広い市民の参加によるプロジェクト（委員会）を設置し、法人の事業、活動を市民の参画・協働によって実施していくことを目指して活動しました。

【コンサートプロジェクト】

次年度開催の準備を進めてきました。会場も今回は取れて、ゲストも決まりました。

朝日敏幸 大菊健太 川崎春枝 原郁子 舟山佐智 山口亜希 北沢貴子 後藤朋子 松本貴匡

(4) 理事・監事、評議員の研修実施

引き続き、研修の機会を設けることに積極的に取り組みました。

VI その他プロジェクト

1. 第5期将来構想プロジェクト〈2022～2024年度第5期中期計画〉

今年度は第5期中期計画の最終年でしたが課題の積み残しが多くなってしまいました。そうした中でGHDAISUKIの移転計画は完了し順調に運営されている事は喜ばしい事です。ICTの活用に関してはスピード感は今一つですが業務日誌との連携や勤怠管理なども日常利用の形が取れています。人材育成についてはサポーターズカレッジの利用が進みましたが受講の時間確保に課題が残っている状況です。

「きょうだいの会」については予定の2回が実施され今後の広がりが期待されます。人員体制強化については、職員に退職者が出たこともあり新たに6名（年度内3名）の採用を行い過去最大の雇用数から更に1名増員した体制を作りました。財政の安定化では、しごと場大好きで、B型・生活介護共にメンバー増員と出勤率の向上に加えて報酬改定による新たな人員配置基準に応じた職員配置が取れた事で増収となり其々単独事業として余裕のある決算となり安定したと言えます。カフェ大好きでの課題は800万の売上目標と接客マナービデオ完成が達成されています。また、年度途中からICに明るい里見委員にご参加いただいています。

【プロジェクト開催】定例年9回 拡大1回 計10回開催

【プロジェクト委員】座長「亀田」 委員「原理事長・大村洋、舟山佐智、普後むつ子、菊池奈美子、里見知俊、内田喜則、松原中代、山口寛孝、小林大志」11名

【2024年度将来構想拡大プロジェクト】

テーマ「サポーターズカレッジで学ぶ家族支援」

日時：2024年11月2日 13:00～16:30

場所：調布あくろす大会議場 参加41名

◇サポーターズカレッジを利用した4本の家族支援に係る動画を見てのグループワークと第5期の将来構想の状況、次の10年に法人として取り組みたい事等について意見交換しました。動画による研修スタイルは少し語りが早めのものだった事もあって講師を呼んでの研修を希望される声がありました。

1. グループホーム移転プロジェクト

2024年度は、2023年12月から始まった内装工事が、2024年4月に竣工を迎え、引き渡しを受けて、移転の準備を進め、引っ越しと増員・移転での事業開始を6月にスタートさせました。新たに2名の新メンバーを迎え入れてスタートしました。新しいメンバーの方にも、少しずつグループホームに慣れて頂いて、なかなか進まなかった宿泊も、週に1日からスタートして、年度の終わりごろには、週に3日くらいは宿泊できるように変わっていきました。

●プロジェクトメンバー：前川奈央、石坂泰子、舟山佐智、長谷川美枝子、森戸基之、堀内治子、亀田良一郎、山口寛孝、内田喜則 9名

●オブザーバー：莊司和代、原良男

貸借対照表

令和 7年 3月31日現在

(単位:円)

資産の部				負債の部			
	当年度末	前年度末	増減		当年度末	前年度末	増減
流動資産	187,866,443	195,861,067	△ 7,994,624	流動負債	33,385,640	31,858,223	1,527,417
現金預金	141,344,529	132,648,911	8,695,618	事業未払金	23,434,758	21,707,018	1,727,740
事業未収金	36,174,810	25,292,753	10,882,057	1年以内返済予定設備資金借入金	1,540,000	1,540,000	0
未収金			0	未払費用	1,320	440	880
未収補助金	7,137,528	34,798,222	△ 27,660,694	預り金	544,899	2,217,161	△ 1,672,262
未収収益		944,897	△ 944,897	職員預り金	2,938,456	1,632,340	1,306,116
商品・製品	238,307	327,409	△ 89,102	仮受金	574,897	333,391	241,506
仕掛品	4,923	1,972	2,951	賞与引当金	4,351,310	4,427,873	△ 76,563
原材料	308,574	260,090	48,484				
立替金	1,330,046	625,005	705,041				
前払金	234,393	56,808	177,585				
前払費用	1,093,333	905,000	188,333				
固定資産	329,471,327	293,944,034	35,527,293	固定負債	7,178,600	8,117,840	△ 939,240
基本財産	248,889,361	252,755,041	△ 3,865,680	設備資金借入金	3,080,000	4,620,000	△ 1,540,000
土地	160,000,000	160,000,000	0	退職給付引当金	4,098,600	3,497,840	600,760
建物	78,889,361	82,755,041	△ 3,865,680				
定期預金	10,000,000	10,000,000	0	負債の部合計	40,564,240	39,976,063	588,177
その他の固定資産	80,581,966	41,188,993	39,392,973	純資産の部			
建物	42,203,897	669,554	41,534,343	基本金	10,000,000	10,000,000	0
機械及び装置	1	1	0	基金	0	0	0
車輛運搬具	3,260,269	134,879	3,125,390	国庫補助金等特別積立金	239,090,201	233,797,476	5,292,725
器具及び備品	1,965,309	797,496	1,167,813	その他の積立金	13,300,702	13,300,702	0
建設仮勘定		6,600,000	△ 6,600,000	設備等整備積立金	7,406,478	7,406,478	0
権利	216,000	216,000	0	工賃変動積立金	5,894,224	5,894,224	0
ソフトウェア	705,834	947,834	△ 242,000				0
投資有価証券	9,982,091	9,982,091	0	次期繰越活動増減差額	214,382,627	192,730,860	21,651,767
退職給付引当資産	4,098,600	3,497,840	600,760	(うち当期活動増減差額)	21,651,767	5,084,994	16,566,773
設備等整備積立資産	7,406,478	7,406,478	0				
工賃変動積立資産	5,894,224	5,894,224	0				
差入保証金	4,500,000	4,500,000	0				
長期前払費用	285,113	478,446	△ 193,333				
その他の固定資産	64,150	64,150	0	純資産の部合計	476,773,530	449,829,038	26,944,492
資産の部合計	517,337,770	489,805,101	27,532,669	負債及び純資産の部合計	517,337,770	489,805,101	27,532,669

資金収支計算書

(自)令和 6年 4月 1日(至)令和 7年 3月31日

(単位:円)

勘定科目		法人合計	法人本部	生活介護	就労継続支援B型	グループホーム
収入	就労支援事業収入	24,934,880		8,555,787	16,379,093	
	受託事業収入	8,606,420		4,819,837	3,786,583	
	喫茶事業収入	8,168,031			8,168,031	
	自主製品事業収入	1,349,457		845,676	503,781	
	菓子、調理製造事業収入	4,260,398		1,831,972	2,428,426	
	アイスクリーム製造事業収入	1,579,178		679,047	900,131	
	簡易受託受注事業収入	887,219		379,255	507,964	
	仕入れ商品売り上げ収入	84,177			84,177	
	障害福祉サービス等事業収入	208,147,020		84,606,155	65,246,077	58,294,788
	自立支援給付費収入	188,379,603		75,836,746	54,248,069	58,294,788
	介護給付費収入	75,836,746		75,836,746		
	訓練等給付費収入	97,917,944			54,248,069	43,669,875
	利用者負担金収入	378,267		378,267		
	特定費用収入	13,169,649				13,169,649
	その他の事業収入	20,844,414		8,391,142	10,998,008	1,455,264
	補助金事業収入	20,844,414		8,391,142	10,998,008	1,455,264
	借入金利息補助金収入	104,720			104,720	
	経常経費寄附金収入	4,234,500	3,740,000	102,330	267,170	125,000
	受取利息配当金収入	97,878	29,679	17,174	26,911	24,114
	その他の収入	553,305	15,433	320,515	141,657	75,700
	受入研修費収入	62,000		26,660	35,340	
	利用者等外給食費収入	75,500				75,500
	雑収入	415,805	15,433	293,855	106,317	200
事業活動収入計(1)		238,072,303	3,785,112	93,601,961	82,165,628	58,519,602
事業活動による収支	人件費支出	145,981,576	174,900	67,300,599	46,112,919	32,393,158
	役員報酬支出	174,900	174,900			
	職員給料支出	53,818,507		28,674,427	19,861,288	5,282,792
	職員賞与支出	13,998,227		7,816,686	4,999,731	1,181,810
	非常勤職員給与支出	54,186,499		18,999,649	12,510,481	22,676,369
	退職給付支出	4,686,600		2,997,740	975,140	713,720
	法定福利費支出	19,116,843		8,812,097	7,766,279	2,538,467
	事業費支出	17,446,382	138,466	3,254,328	5,552,223	8,501,365
	給食費	4,021,427				4,021,427
	保健衛生費支出	616,131		284,218	331,201	712
	被服費支出	6,980			6,980	
	教養娯楽費支出	144,259		68,139	76,120	
	水道光熱費支出	5,009,797		1,099,403	2,047,322	1,863,072
	燃料費	523,032			523,032	
	消耗器具備品費支出	1,892,221	6,710	215,983		1,669,528
	保険料支出	789,646	65,600	152,081	297,335	274,630
	賃借料支出	593,150		33,298	559,852	
	教育指導費支出	108,209		46,524	61,685	
	車輛費支出	2,962,046	2,228	1,354,399	1,605,419	
	業務委託費支出	159,500			42,900	116,600
	雑支出	619,984	63,928	283	377	555,396
	事務費支出	27,379,613	367,253	6,314,704	9,278,709	11,418,947
	福利厚生費支出	225,649		128,160	92,324	5,165
	旅費交通費支出	91,441	50,000	17,508	22,473	1,460
	研修研究費支出	181,880	9,000	71,830	101,050	
	事務消耗品費支出	447,308	53,937	184,162	172,231	36,978
	印刷製本費支出	181,881	172,801	3,903	5,177	
	水道光熱費支出	205,735		88,466	117,269	
	燃料費	693	693			
	修繕費支出	800,748		449,512	115,143	236,093
	通信運搬費支出	1,028,232	6,556	212,454	337,728	471,494
	会議費	2,000	2,000			
	広報費支出	953,439	47,688	577,571	328,180	
	業務委託費支出	3,137,740		1,498,094	1,636,346	3,300
	手数料支出	300,252	5,266	89,700	163,496	41,790
	保険料支出	79,000		33,970	45,030	
	賃借料支出	1,085,593		466,472	619,121	
	土地・建物賃借料支出	15,535,180		1,919,793	2,998,720	10,616,667
	租税公課支出	1,025,500		205,367	820,133	
	保守料支出	14,850	14,850			
	諸会費支出	31,662	4,462	3,440	17,760	6,000
	雑支出	2,050,830		364,302	1,686,528	
	就労支援事業支出	24,450,464		8,545,742	15,904,722	
	就労支援事業販売原価支出	24,298,230		8,483,503	15,814,727	
	就労支援事業販管費支出	152,234		62,239	89,995	
	事業販管費支出	152,234		62,239	89,995	
	支払利息支出	104,720			104,720	
	その他の支出	3,790		1,628	2,162	
	利用者等外給食費支出	3,790		1,628	2,162	
事業活動支出計(2)		215,366,545	680,619	85,417,001	76,955,455	52,313,470
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		22,705,758	3,104,493	8,184,960	5,210,173	6,206,132

資金収支計算書

(自)令和 6年 4月 1日(至)令和 7年 3月31日

(単位:円)

勘定科目		法人合計	法人本部	生活介護	就労継続支援B型	グループホーム
施設整備等による収支	収入					
	施設整備等補助金収入	12,411,000		109,220	1,994,780	10,307,000
	施設整備等補助金収入	12,411,000		109,220	1,994,780	10,307,000
	固定資産売却収入	561,550				561,550
	建設仮勘定売却収入	561,550				561,550
	施設整備等収入計(4)	12,972,550		109,220	1,994,780	10,868,550
	支出					
	設備資金借入金元金償還支出	1,540,000			1,540,000	
	固定資産取得支出	43,699,245	561,550		3,941,710	39,195,985
	車両運搬具取得支出	39,877,435			681,450	39,195,985
その他の活動による収支	器具及び備品取得支出	1,287,985				1,287,985
	建設仮勘定取得支出	37,831,550	561,550			37,270,000
	施設整備等支出計(5)	45,239,245	561,550		5,481,710	39,195,985
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 32,266,695	△ 561,550	109,220	△ 3,486,930	△ 28,327,435
	収入					
	拠点区分間繰入金収入					
	サービス区分間繰入金収入					
	その他の活動による収入					
	その他の特別収入					
	その他の固定資産収入					
その他の活動による収支	その他の活動収入計(7)					
	支出					
	拠点区分間繰入金支出					
	サービス区分間繰入金支出					
	その他の活動による支出					
	その他の固定資産支出					
	その他の活動支出計(8)					
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)					
	当期資金収支差額合計(10)=(3)+(6)+(9)	△ 9,560,937	2,542,943	8,294,180	1,723,243	△ 22,121,303
	前期末支払資金残高(11)	169,187,913	55,036,904	△ 8,951,368	90,797,552	32,304,825
	当期末支払資金残高(10)+(11)	159,626,976	57,579,847	△ 657,188	92,520,795	10,183,522

事業活動計算書

(自)令和 6年 4月 1日(至)令和 7年 3月31日

(単位:円)

勘定科目		法人合計	法人本部	生活介護	就労継続支援B型	グループホーム
収益	就労支援事業収益	24,934,880		8,555,787	16,379,093	
	受託事業収益	8,606,420		4,819,837	3,786,583	
	喫茶事業収益	8,168,031			8,168,031	
	自主製品事業収益	1,349,457		845,676	503,781	
	菓子、調理製造事業収益	4,260,398		1,831,972	2,428,426	
	アイスクリーム製造事業収益	1,579,178		679,047	900,131	
	簡易受託受注事業収益	887,219		379,255	507,964	
	仕入れ商品売り上収益	84,177			84,177	
	障害福祉サービス等事業収益	208,147,020		84,606,155	65,246,077	58,294,788
	自立支援給付費収益	173,754,690		75,836,746	54,248,069	43,669,875
	介護給付費収益	75,836,746		75,836,746		
	訓練等給付費収益	97,917,944			54,248,069	43,669,875
	利用者負担金収益	378,267		378,267		
	特定費用収益	13,169,649				13,169,649
	その他の事業収益	20,844,414		8,391,142	10,998,008	1,455,264
	補助金事業収益	20,844,414		8,391,142	10,998,008	1,455,264
	経常経費寄附金収益	4,234,500	3,740,000	102,330	267,170	125,000
	サービス活動収益計(1)	237,316,400	3,740,000	93,264,272	81,892,340	58,419,788
サービス活動増減の部	人件費	145,905,013	174,900	69,523,732	43,763,467	32,442,914
	役員報酬	174,900	174,900			
	職員給料	53,818,507		28,674,427	19,861,288	5,282,792
	職員賞与	9,570,354		7,816,686	914,958	838,710
	賞与引当金繰入	4,351,310		2,223,133	1,735,321	392,856
	非常勤職員給与	54,186,499		18,999,649	12,510,481	22,676,369
	退職給付費用	4,686,600		2,997,740	975,140	713,720
	法定福利費	19,116,843		8,812,097	7,766,279	2,538,467
	事業費	17,446,382	138,466	3,254,328	5,552,223	8,501,365
	給食費	4,021,427				4,021,427
	保健衛生費	616,131		284,218	331,201	712
	被服費	6,980			6,980	
	教養娯楽費	144,259		68,139	76,120	
	水道光熱費	5,009,797		1,099,403	2,047,322	1,863,072
	燃料費	1,669,528				1,669,528
	消耗器具備品費	745,725	6,710	215,983	523,032	
	保険料	789,646	65,600	152,081	297,335	274,630
	賃借料	593,150		33,298	559,852	
	教育指導費	108,209		46,524	61,685	
	業務委託費	116,600			42,900	116,600
	車輛費	2,962,046	2,228	1,354,399	1,605,419	
	雑費	619,984	63,928	283	377	555,396
	事務費	27,603,746	367,253	6,314,704	9,336,176	11,585,613
	福利厚生費	225,649		128,160	92,324	5,165
	旅費交通費	91,441	50,000	17,508	22,473	1,460
	研修研究費	181,880	9,000	71,830	101,050	
	事務消耗品費	478,108	53,937	184,162	203,031	36,978
	印刷製本費	181,881	172,801	3,903	5,177	
	水道光熱費	205,735		88,466	117,269	
	燃料費	693	693			
	修繕費	850,748		499,512	115,143	236,093
	通信運搬費	1,028,232	6,556	212,454	337,728	471,494
	会議費	2,000	2,000			
	広報費	953,439	47,688	577,571	328,180	
	業務委託費	3,137,740		1,498,094	1,636,346	3,300
	手数料	300,252	5,266	89,700	163,496	41,790
	保険料	79,000		33,970	45,030	
	賃借料	1,085,593		466,472	619,121	
	土地・建物賃借料	15,728,513		1,919,793	3,025,387	10,783,333
	租税公課	1,025,500		205,367	820,133	
	保守料	14,850	14,850			
	諸会費	31,662	4,462	3,440	17,760	6,000
	雑費	2,050,830		364,302	1,686,528	
	就労支援事業費用	24,488,131		8,545,742	15,942,389	
	就労支援事業販売原価	24,335,897		8,483,503	15,852,394	
	期首製品(商品)棚卸高	327,409			327,409	
	当期就労支援事業製造原価	24,246,795		8,483,503	15,763,292	
	期末製品(商品)棚卸高	238,307			238,307	
	就労支援事業販管費	152,234		62,239	89,995	
	減価償却費	7,987,029		169,318	4,454,040	3,363,671
	国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 7,118,275		△ 76,440	△ 3,821,511	△ 3,220,324
	サービス活動費用計(2)	216,312,026	680,619	87,731,384	75,226,784	52,673,239
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	21,004,374	3,059,381	5,532,888	6,665,556	5,746,549

事業活動計算書

(自)令和 6年 4月 1日(至)令和 7年 3月31日

(単位:円)

勘定科目		法人合計	法人本部	生活介護	就労継続支援B型	グループホーム
サービス活動外増減の部	収益	借入金利息補助金収益	104,720		104,720	
		受取利息配当金収益	97,878	29,679	26,911	24,114
		その他のサービス活動外収益	553,305	15,433	141,657	75,700
		利用者等外給食費収益	75,500			75,500
		受入研修費収益	63,000		36,340	
		雑収益	415,805	15,433	293,855	200
		雑収益	325,805	15,433	293,855	200
		サービス活動外収益計(4)	755,903	45,112	337,689	99,814
	費用	支払利息	104,720		104,720	
		その他のサービス活動外費用	3,790		2,162	
		利用者等外給食費	3,790	1,628	2,162	
		雑損失		1,628		
特別増減の部	収益	サービス活動外費用計(5)	108,510	1,628	106,882	
		サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	647,393	45,112	166,406	99,814
		経常増減差額(7)=(3)+(6)	21,651,767	3,104,493	5,868,949	5,846,363
		施設整備等補助金収益	12,411,000		109,220	10,307,000
		施設整備等補助金収益	2,104,000		109,220	1,994,780
	費用	固定資産売却益				
		拠点区分間繰入金収益				
		その他の特別収益				
		特別収益計(8)	12,411,000	109,220	1,994,780	10,307,000
		基本金繰入額				
繰越活動増減差額の部	費用	固定資産売却損・処分損				
		国庫補助金等特別積立金積立額	12,411,000	109,220	1,994,780	10,307,000
		拠点区分間繰入金費用				
		特別費用計(9)	12,411,000	109,220	1,994,780	10,307,000
		特別増減差額(10)=(8)-(9)				
	繰越活動増減差額の部	当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	21,651,767	3,104,493	5,868,949	5,846,363
		前期繰越活動増減差額(12)	192,730,860	67,190,995	11,409,234	4,888,224
		当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	214,382,627	70,295,488	17,278,183	10,734,587
		基本金取崩額(14)				
		その他の積立金取崩額(15)				
	繰越活動増減差額の部	その他の積立金積立額(16)				
		工賃変動積立金積立額				
		設備等整備積立金積立額				
	繰越活動増減差額の部	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	214,382,627	70,295,488	17,278,183	10,734,587

社会福祉法人調布を耕す会 2025年度事業計画

I 重点目標

1. 社会福祉事業「しごと場 大好き」分場「しごと場大好き 国領」「カフェ 大好き」の運営の充実に努める。
2. 社会福祉法人として、地域福祉の担い手となるべく、多くの市民とともに事業・活動の一層の充実、展開を目指す。
3. グループホーム「DAISUKI」ユニット「パンプキン」の運営の充実に努める。
4. 第2期長期計画策定（2026～2035年度）に取り組む。

II 生活介護「しごと場 大好き」・分場「しごと場 大好き 国領」の運営

所在地 東京都調布市布田3-20-1

利用定員 10名 現員14名《区分6（7）区分5（6）区分4（1）》

職員定数

所 長（管理者）	1名（常勤）
サービス管理責任者	1名（常勤）（所長兼務）
医 師	1名（嘱託）
看護職員	1名（非常勤）
機能訓練指導員	1名（常勤）
生活支援員	11名（常勤7名、非常勤4名）
事務職員	1名（非常勤・兼務）

分場「しごと場大好き 国領」

所在地 東京都調布市国領7-17-26

利用定員 7名 現員6名《区分5（5）区分4（1）》

職員定数

所 長（管理者）	1名（常勤・兼務）
サービス管理責任者	1名（常勤・兼務）
生活支援員	2名（常勤2名）

1. 事業運営基本計画

指定生活介護の事業は、通所メンバー（以下メンバーとする）が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、障害者自立支援法施行規則第二条の四に規定するものに対して、入浴、排せつ又は食事の介護、創作的活動又は生産活動の機会の提供その他の便宜を適切かつ効果的に行うものとする。また、メンバーが住み慣れた地域で、豊かに愉快地にゆうゆうと暮らし、自己実現できるようにそれぞれに応じた支援を提供するとともに、人間性を尊重した事業運営に努める。

2. 今年度方針

「しごと場大好き」：昨年度の退職職員に伴い増員を含めた新規職員の採用を行っており、メンバー支援力の確保の為に人材育成、定着に力点を置いた総合的な人材マネジメントへの取り組みを重点課題とします。

分場「しごと場大好き 国領」：担当職員が代わる中でも、これまで同様に穏やかに過ごしながらか安定した支援を提供する事を目指します。また、翌年度には事業場所の更新がされない事から移転についても協議検討していきます。

3. メンバーの処遇

(1) 生活支援

メンバーの基本的な人権を尊重し、常にメンバーの立場に立って、心身の健康保持と機能の向上に努めます。

(2) 創作活動援助

メンバーの意思や個性・特性を尊重し、社会との結びつきを大切にした生産活動を行います。

4. 活動内容

「しごと場大好き」

(1) 日常生活上の支援を提供

ADLが未自立なメンバーに対して、介護など日常生活上の支援を通して、身体能力、日常生活能力の維持・向上に努めます。

(2) 創作活動の機会の提供

創作活動を通して、身体能力、日常生活能力の維持・向上を図ります。分場との連携を意識し積極的に交流の機会を設けます。(組紐、陶芸、作画他)

(3) 簡易受託受注事業

封入封緘や下請け軽作業、ポスティングなどを通して地域への障害者理解を促進し、働く事への意欲を喚起します。

(4) その他の事業

- ①社会体験グループ活動：余暇／運動／コミュニケーションマナー、アフタヌーンティなどのグループ活動)
- ②地域に根ざした活動（地域向け施設開放行事各種／公園清掃／駅前清掃／駐輪場清掃他)
- ③受託事業、食品加工事業など B 型事業所との共同事業
- ④自立訓練（日常の生活や作業の中で、個別支援等を通じて社会生活に生きるプログラムを提供して行く)
- ⑤在宅支援：大規模震災水災害、感染症拡大他、在宅による支援がやむを得ないと市区町村が判断した場合、在宅での支援を提供する場合があります。
- ⑥専門職による支援：理学療法士、言語聴覚士、彫金作家など専門職に定期的に来訪いただき各分野の知識と技術を学びながらメンバー支援の質を向上させていきます。
- ⑦リハビリ：ストレッチ、ダンス、トレーニング等を通じて身体的退行抑制に努めます。

分場「しごと場大好き国領」

(1) 生活力の向上と維持

ADL が未自立なメンバーに対し、日常的なサポートに加え自分で判断する力を伸ばしていけるような取り組みを行うことで自発性の向上を目指します。

(2) 作業の取り組み

メンバー個々の能力に応じた作業提供を行います。難しいと感じる作業に対して工程の細分化（スモールステップ）や多角的な視野を持ち、作業にメンバーを合わせるのではなくメンバーに作業を合わせ、技術の習得を目指します。また、それぞれの特性を生かした作業や社会との繋がりを持てるような作業を開拓していきます。

作業項目

自主製品の制作と販売

- ・紙すき（手すきコースター）
- ・コインを使ったアクセサリ作り（リング・コンチョ・ミサンガ）
- ・皮のキーホルダー作り
- ・メンバーデザインの人形作り
- ・シルクスクリーンでの製品作り（T シャツ・手ぬぐい）

受注作業

- ・定期清掃・駐輪場清掃・ポスティング・フリンジ等

5. 防災計画

しごと場大好き防災計画を作成するとともに、避難訓練等を年2～4回実施します。

所 長	総指揮（防火管理責任者）
生活支援員	救助担当・消火担当・連絡・報告担当
機能訓練指導員	避難訓練担当者

分場では独自の防災計画を作成し避難訓練等を年2～4回実施します。

主任	総指揮（防火管理責任者）
生活支援員	救助担当・消火担当・連絡・報告担当
機能訓練指導員	避難訓練担当者

6. 日 課

職員出勤 打合せ・送迎	8 : 3 0
通所	9 : 0 0
打合せ・準備	9 : 1 5
作業開始	9 : 1 5～1 2 : 0 0
昼食・休憩	1 2 : 0 0～1 3 : 0 0
作業開始	1 3 : 0 0～1 5 : 0 0
作業終了・片付け・掃除	1 5 : 0 0～1 5 : 4 5
打合せ・帰宅準備・帰宅	1 5 : 4 5～1 6 : 0 0
送迎	1 6 : 0 0～1 6 : 4 5
職員打合せ	1 7 : 0 0
閉所	1 7 : 3 0

7. 苦情解決

苦情対応規定に基づき苦情受付担当 援助主任：後藤 朋子 042-486-1022

苦情解決責任者 所長：亀田 良一郎 042-486-1022 を置く

分場

苦情対応規定に基づき苦情受付担当 分場主任：松本 貴匡 042-444-3733

苦情解決責任者 所長：亀田 良一郎 042-486-1022 を置く

8. 第三者委員

三田 恵美（特別支援学校教員） 伊藤 正子（元特別支援学校教員）の2名を置く。

年に数回の相談日に加えて訪問調査日を設けて、日常の運営の中での課題を調査して頂く。また、分場国領に於いても同じ機会を提供する。

9. 職員名簿

しごと場大好き

職 名	氏 名	資 格
所 長 (管理者・サービス管理責任者)	亀田 良一郎	社会福祉士
生活支援員・調理主任	亀田 弘美	
機能訓練指導員	広沢 真	社会福祉士
生活支援員	米倉 佳の子	介護福祉士
生活支援員	杉山 直哉	言語聴覚士
生活支援員	藤本 美香	介護福祉士
生活支援員	呉 敏司	
生活支援員	藤原 恵介	
生活支援員	福島 絃希	
生活支援員	日下石 誠	
生活支援員	牧田 洋子	
生活支援員	阿部 佳恵	
生活支援員	河野 知美	
事務職員・支援員兼務	松原 中代	

看護職員（非常勤）	上田 砂恵子	看護師
-----------	--------	-----

分場「しごと場大好き国領」

職 名	氏 名	資 格
所 長（兼務） （管理者・サービス管理責任者）	亀田 良一郎	社会福祉士
生活支援員・主任	松本 貴匡	
機能訓練指導員・生活支援員	松崎 亜季	理学療法士

10. 職員研修計画

サポーターズカレッジを活用したチームマネジメントによる受講の形を試みると共に、在宅での受講を可能にする手当制度の導入を行いより積極的な受講となるよう取り組みます。

11. 資金計画

通常の運営経費は運営費でまかないます。また、財政状況を見極めながら修繕、工賃等の積立金を検討して行きます。

Ⅲ 就労継続支援B型「しごと場大好き」・出張所「カフェ大好き」の運営 【就労継続支援B型「しごと場大好き」】

所在地 東京都調布市布田3-20-1

利用定員 20名 現員27名

職員定数

所 長（管理者）	1名（常勤）
サービス管理責任者	1名（常勤・所長兼務）
職業指導員	5名（常勤1名、非常勤4名）
生活支援員	4名（常勤2名、非常勤2名）
目標工賃達成指導員	1名（常勤）
事務職員	1名（非常勤）

1. 事業運営基本計画

指定就労継続支援（B型）の事業は、通所メンバー（以下メンバーとする）が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、障害者自立支援法施行規則第六条の十第二号に規定する者に対して就労の機会を提供するとともに、生産活動その他の活動の機会の提供を通じて、知識及び能力の向上のために必要な訓練その他の便宜を適切かつ効果的に行うものとする。また、メンバーが住み慣れた地域で、豊かに愉快地悠悠と暮らし、自己実現できるようにそれぞれに応じた支援を提供するとともに、人間性を尊重した事業運営に努める。

2. 今年度方針

生活介護同様に新しい職員が増える状況でメンバー支援力の確保の為に人材育成、定着に力点を置いた総合的な人材マネジメントへの取り組みが重要になってきます。また、メンバーが増える中で個々の作業スペースや作業種目の充実が求められていることから、新たな作業とワークスペースの確保を検討して行きます。

3. メンバーの処遇

(1) 生産活動援助

メンバーの意思や個性・特性を尊重し、社会との結びつきを大切にした生産活動を行います。

(2) 生活指導

メンバーの基本的な人権を尊重し、常にメンバーの立場に立って、心身の健康保持と機能の向上に努めます。

(3) 職業訓練指導

就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練等の提供を行います。その中で施設外就労による取り組みも視野に入れていきます。

4. 生産活動内容

(1) 受託事業

地域貢献に繋がる行政からの委託事業を通して、仕事に対する誇りと責任を培います。新たにペットボトルキャップの回収、廃油回収、花壇整備などの受託作業も提案されており、受け入れを検討します。(牛乳パック回収、公園清掃、メール交換、ポスティング、駐輪場散水、クリーンセンター清掃)

(2) 自主製品事業

創作活動(芸術活動)とその販売や展示を通して、地域への障害者理解の促進と働くことへの意欲を喚起します。都運営の福祉ショップ「KURUMIRU」での販売や障害者アート展にも積極的に取り組みます。(陶芸、組みひも、ポストカード、絵画他)

(3) 喫茶事業

駅前商店街での喫茶店、福祉ショップ営業(カフェ大好き)での仕事を通して社会人として必要な知識、能力を培います。

(4) 食品加工事業

食品製造、加工、販売を通しての社会人に必要な知識、能力を培います。また食品表示や、HACCPでの衛生管理を行い安全性を高め、更なる販路開拓に取組みます。(カフェ大好きでの販売食品、菓子の製造、加工)(ジェラートの製造、加工、販売)

5. 防災計画

しごと場大好き防災計画を作成するとともに、避難訓練等を年2～4回実施します。

所 長	総指揮
生活支援員	救助担当・連絡・報告担当
目標工賃達成指導員	救助担当・連絡・報告担当
職業指導員	消火・救助担当

6. 日 課

職員出勤	8 : 3 0
通所	9 : 0 0
打合せ・準備	9 : 1 5
作業開始	9 : 1 5 ~ 1 2 : 0 0
昼食・休憩	1 2 : 0 0 ~ 1 3 : 0 0
作業開始	1 3 : 0 0 ~ 1 5 : 0 0
作業終了・片付け・掃除	1 5 : 0 0 ~ 1 5 : 4 5
打合せ・帰宅準備・帰宅	1 5 : 4 5 ~ 1 6 : 0 0
送迎	1 6 : 0 0 ~ 1 6 : 4 5
職員打合せ	1 7 : 0 0
閉所	1 7 : 3 0

7. 苦情解決

苦情対応規定に基づき苦情受付担当 援助主任：後藤 朋子 042-481-3933

苦情解決責任者 所長：亀田 良一郎 042-486-1022 を置く

8. 第三者委員 ＊生活介護事業所と共同

三田 恵美（特別支援学校教員） 伊藤 正子（元特別支援学校教員）の2名を置く。

大好き市の他、年に数回の相談日を設け、メンバー、家族の希望者から相談を受ける。出張所においても同じ機会を利用し相談を受ける。

9. 職員研修計画

サポーターズカレッジを活用したチームマネジメントによる受講の形を試みると共に、在宅での受講を可能にする手当制度の導入を行いより積極的な受講となるよう取り組みます。

10. 資金計画

財政状況を鑑みて将来を見据えたクラウド環境整備や給与規定改訂を検討します。

11. 職員名簿

職 名	氏 名	資 格
所 長 ＊生活介護と兼務 (管理者・サービス管理責任者)	亀田 良一郎	社会福祉士
＊カフェ大好き店長 職業指導員	小林 大志	社会福祉士
援助主任 生活支援員	後藤 朋子	
生活支援員	阿部 隼也	
生活支援員	土屋 美優紀	

目標工賃達成指導員	雲野 牧古	社会福祉士
職業指導員	高木 里美	
職業指導員	佐藤 愛	社会福祉士
職業指導員	小林 美菜子	
生活支援員	阿部 佳恵	
職業指導員	前嶋 尚子	
法人事務局長 事務職員	内田 喜則	

【出張所「カフェ大好き」】

所在地 東京都調布市多摩川5―7―4京王多摩川88ビル1F

1. 基本方針

- (1) 市民と直に接する機会を積極的に持ち、市民に理解を求めるとともに多くの社会的体験を得る場とする。
- (2) 地域の作業所の自主製品を広く市民に紹介し、積極的に販売する場とする。
- (3) 就労をした障碍のある仲間が、帰宅途中気がねなく立ち寄り、英気を養える場となるよう努める。
- (4) 週末に営業することで、障碍のある仲間の余暇活動をサポートする場となるよう努める。
- (5) 地域に根ざした活動をする。
- (6) 就労継続支援施設B型「しごと場大好き」の出張所として、店舗営業の作業に取り組むことで「仕事」という意識により強く働きかける場とする。

2. 今年度方針

新たな職員が常駐する形が定着して、来客数が上向きとなり、大入りに到達する月が多くなりました。懸案だった接客マニュアルビデオの撮影と編集により、完成まで近づいてきています。今年度は新しい担当者の新鮮なアイデアを活かしながら、お客様も店員も笑顔で過ごせるお店を目指して、法人の理念である「ゆたかにゆかいにゆうゆうと」の原点に立ち返りながら、運営をしていきます。

3. 事業

(1) 事業活動

①喫茶事業（喫茶店の営業）

従業員もお客様も楽しめる雰囲気をした営業をしていきます。メニューブックの劣化がみられ、新調を検討します。

②福祉ショップ事業

地域の作業所の自主製品を広く市民に紹介し、積極的に販売します。定期的な商品入れ替えも働

きかけていきます。

③地域交流事業（展覧会/講演会等）

C a f eの無料ギャラリーを地域住民に一般開放し、展示会等の文化的活動の発信の場として取り組んでいきます。

（２）利用者の処遇

①常時十分な処遇が受けられるスタッフの配置をこころがけます。

②個別の状況に応じた労働環境の提供をこころがけます。（加齢への対応、積極的な調理への参加等）

③安定した工賃収入が得られるよう努力します。

④家族と連絡を密にとり、メンバーの状況の変化を見逃さないようにします。

（３）メンバー会議

しごと場大好きの日曜日の取り組みに合同で参加します。

（４）広報・情報提供活動

ホームページ、フェイスブック、インスタグラム等を活用して、カフェ大好きの情報発信をします。

4. 運営・管理

（１）運 営

出張所として、適正な運営を行います。

（２）資金計画

通常の運営資金は運営費でまかないます。

（３）衛生管理

①掃除を徹底し、常に店内や器具類を清潔に保ちます。

②手洗いや爪切りを徹底し、常に体を清潔にするよう努めます。

③食品の取り扱いには充分注意します。

④定期的に衛生管理チェックを行います。検便を年２回実施します。（４月・１０月）

（４）保守管理

気持ちよくお客様を迎えられる環境を保つため毎日清掃を行い、建物を美しく維持管理することに努めます。

（５）防災計画

防災計画を作成するとともに、避難訓練を実施します。

（６）苦情解決

苦情対応規定に基づき苦情受付担当 生活支援員：後藤 朋子 042-481-3933

苦情解決責任者 所長：亀田 良一郎 042-486-1022 を置きます。

苦情対応マニュアルに基づき、迅速な対応を心がけます。

（７）第三者委員

三田 恵美（特別支援学校教員） 伊藤 正子（元特別支援学校教員）の２名を置きます。

（８）施設間の連絡調整

①他の施設と積極的に連携し、職員の交流と施設運営の経験交流を図ります。

②全国喫茶コーナー交流会の活動に積極的に参加し、喫茶店事業を営む作業所と連携を深めるよう努力します。

(9) 研 修

他の福祉喫茶の見学を兼ねてお店を訪問して、メンバーとともに昼の食事をしたり、お話を伺ったりするという研修の機会をもちます

Ⅳ 共同生活援助グループホームDAISUKIの運営

所在地 東京都調布市調布ヶ丘2丁目34番地1

利用定員 7名 区分6：1名、区分5：2名、区分4：3名、区分3：1名

職員数 5名

- | | |
|-------------|-------------------------|
| 一 所 長（管理者） | 1名（兼務：サビ管・常勤の生活支援員と兼務） |
| 二 サービス管理責任者 | 1名（兼務：管理者・常勤の生活支援員と兼務） |
| 三 生活支援員 | 4名（常勤1名・非常勤3名） |
| 四 世話人 | 6人（非常勤5名、うち3名は生活支援員と兼務） |

1. 事業運営基本計画

指定共同生活援助の提供に当たっては、メンバーが地域において共同して自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、メンバーの身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて共同生活住居において入浴、排せつ又は食事等の援助、相談その他の日常生活上の援助を適切かつ効果的に行うものとする。また、メンバーが住み慣れた地域で、豊かに愉快にゆうゆうと暮らし、自己実現できるようにそれぞれに応じた支援を提供するとともに、人間性を尊重した事業運営に努める。

2. 今年度方針

調布ヶ丘2丁目に2024年6月に移転となり、おおむね皆さんも落ち着いて、入居者が7名いる日が増えてきています。職員は夜間に2人体制を組むことで、介助の手を確保して支援を進めています。今年度についても、新入居の方は当然のこととして、すでに入居中の方々も、新しい場や新しい職員に慣れる事を中心に据えて支援を行い、グループホームにいたることが当たり前になるように、時間をかけてじっくり取り組んでいきます。

今年度の懸案となっている地域連携推進会議を立ち上げ、構成員で会議を開催し、地域連携推進員の訪問を実施します。

3. メンバーの処遇

メンバーの基本的な人権を尊重し、常にメンバーの立場に立って、心身の健康保持と社会生活力の向上に努めます。

4. 事業内容

- (1) メンバーに対する相談
- (2) 食事、入浴、トイレの対応等支援の提供
- (3) 健康管理
- (4) 金銭管理の援助
- (5) 余暇活動の支援

(6) 職場、家庭等関係者への連絡調整等生活に必要な援助

5. 防災計画

DAISUKI 防災計画を作成するとともに、避難訓練等を年 2 回実施する。

所 長	総指揮（防火管理責任者）
生活支援員	救助担当・消火担当・連絡・報告担当
世話人	救助担当・消火担当

6. 苦情解決

苦情対応規程に基き苦情受付担当 生活支援員：山口 寛孝 042-480-0231

苦情解決責任者 法人事務局GH担当：内田 喜則 042-486-1022 を置く

7. メンバーから受領する費用

指定共同生活援助事業に係る利用料は、各区市町村長が定める基準額によるものとし、当該指定共同生活援助が法定代理受領のサービスであるときは、厚生労働大臣が定める基準額の 1 割の額とする。ただし、各区市町村長が定める月額負担上限額の範囲内とする。また、日常にかかる経費は次のように定める。

食材費（朝食 300 円、昼食 300 円、夕食 800 円）

家賃：62,000 円 他、水道光熱費、日用品費、雑費など実費

8. 職員名簿

職 名	氏 名	資 格
所 長（グループホームパンプキン所長と兼務） （管理者）	山口 寛孝	ホームヘルパー 2 級 精神保健福祉士 介護福祉士
生活支援員（管理者・サービス管理責任者と兼務）	山口 寛孝	
世話人	三宅 八江子	ホームヘルパー 1 級 介護福祉士 介護支援専門員
世話人	桜井 洋子	ホームヘルパー 2 級 介護福祉士
世話人（生活支援員を兼務）	小島 良太	
世話人（生活支援員を兼務）	竹中 とも子	
世話人（生活支援員を兼務）	肥後 智史	

9. 資金計画

通常の運営経費は、運営費でまかないます。

10. 研修計画

調布市人材福祉センターの研修・グループホーム連絡会主催の研修・東京都主催の研修などに参加します。援助技術の専門性を高める事を目的として、市内の身体介護を行っている事業所に介護技術に

ついて教えを乞うことを研修として予定している。

V 共同生活援助グループホームDAISUKIパンプキンの運営

所在地 東京都調布市染地2-27-6

利用定員 5名 区分6:2名、区分5:1名、区分3:2名

職員数

- | | |
|-------------|--------------------|
| 一 所長（管理者） | 1名（DAISUKI管理者と兼務） |
| 二 サービス管理責任者 | 1名（所長・常勤の生活支援員と兼務） |
| 三 生活支援員 | 7名（常勤1名・非常勤6名） |
| 四 世話人 | 4名（非常勤） |
| 五 看護師 | 1名（非常勤） |

1. 事業運営基本計画

指定共同生活援助の提供に当たっては、メンバーが地域において共同して自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、メンバーの身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて共同生活住居において入浴、排せつ又は食事等の援助、相談その他の日常生活上の援助を適切かつ効果的に行うものとする。また、メンバーが住み慣れた地域で、豊かに愉快地ゆうゆうと暮らし、自己実現できるようにそれぞれに応じた支援を提供するとともに、人間性を尊重した事業運営に努める。

2. 今年度方針

一昨年よりおこなっているグループホーム運営会議により改善案を進めて、情報の共有化と支援の統一を目指します。勤務体制を確立して、安心して働ける環境と統一した支援を提供できる場となるように努めていきます。支援の統一に向けて、パンプキンに常駐する職員を置くこととします。虐待防止研修を含む職員の研修に力を注ぎます。

3. メンバーの処遇

メンバーの基本的な人権を尊重し、常にメンバーの立場に立って、心身の健康保持と社会生活力の向上に努めます。

4. 事業内容

- (1) メンバーに対する相談
- (2) 食事、入浴の提供
- (3) 健康管理
- (4) 金銭管理の援助
- (5) 余暇活動の支援
- (6) 職場、家庭等関係者への連絡調整等生活に必要な援助

5. 防災計画

DAISUKIパンプキン防災計画を作成するとともに、避難訓練等を年2回実施する。

所 長	総指揮（防火管理責任者）
生活支援員	救助担当・消火担当・連絡・報告担当
世話人	救助担当・消火担当

6. 苦情解決

苦情対応規程に基き苦情受付担当 生活支援員：山口 寛孝 042-480-0231

苦情解決責任者 法人事務局GH担当：内田 喜則 042-486-1022 を置く

7. メンバーから受領する費用

指定共同生活援助事業に係る利用料は、各区市町村長が定める基準額によるものとし、当該指定共同生活援助が法定代理受領のサービスであるときは、厚生労働大臣が定める基準額の1割の額とする。ただし、各区市町村長が定める月額負担上限額の範囲内とする。また、日常にかかる経費は次のように定める。

食材料費（朝食300円、昼食300円、夕食600円（水：800円））

家賃：61,200円、他、水道光熱費、日用品費、雑費など実費

8. 職員名簿

職 名	氏 名	資 格
所 長（グループホームDAISUKI所長と兼務） （管理者）	山口 寛孝	ホームヘルパー2級 精神保健福祉士 介護福祉士
生活支援員（管理者・サービス管理責任者と兼務）	山口 寛孝	
生活支援員	原田美由紀	
生活支援員	師井佳子	介護福祉士
生活支援員	高橋由美子	介護福祉士
世話人	織田麗子	
世話人	来田めぐみ	
生活支援員	原 泉	
生活支援員（DAISUKI兼務）	竹中とも子	
世話人	大橋弘恵	
世話人	山城末子	
生活支援員	田中真奈	
看護師（兼務）	上田砂恵子	看護師

9. 資金計画

通常の運営経費は、運営費でまかないます。

10. 研修計画

調布市社会福祉事業団の研修・グループホーム連絡会主催の研修・東京都主催の研修などに参加します。援助技術の専門性を高める事を目的として、研修会等に積極的に参加します。法人の取り組みにも参加します。

Ⅵ その他の事業・活動

1. 障害者の社会参加を支援する活動

交流活動（年間を通して随時）

四季折々の行事で障害者と市民とが交流する機会を設けます。

2. 広報・情報提供活動

（1）会報の発行等

会報を発行、配布することで広く法人の活動を知ってもらえるようにします。

（2）情報提供活動

ホームページを活用し、法人のリアルタイムな情報を提供できるようにします。

3. 市民参加型事業・活動の開発と企画・実施

（1）「それはおしゃれなコンサート（第29回）」の実施

日時：2026年1月10日

会場：調布市文化会館たづくり くすのきホール

出演者：トクマル シューゴ 様

障害の有無にかかわらず、身近な地域で本格的なコンサートを共に楽しむことを目的としたコンサートを開催します。

4. 協力・連携事業

（1）文化的活動の実施

（2）他団体等への支援・協力活動の実施

Ⅶ. 組織運営

1. 組織運営

社会福祉事業 「しごと場 大好き」・「カフェ 大好き」・「しごと場大好き国領」グループホーム「DAISUKI」・グループホーム「パンプキン」を運営する態勢を整えるとともに、事業・活動を円滑に進めるため、組織運営の確立を図ります。

（1）理事会、評議員会の開催 ＊予定

第1回理事会 6月 7日（土） 第1回定時評議員会 6月22日（日）

第2回理事会 9月27日（土）

第3回理事会 11月22日（土）

第4回理事会 1月31日（土）

第5回理事会 3月14日（土） 第2回評議員会 3月28日（土）

※評議員会は、上記2回の他、必要に応じて理事会が招集する。

（2）事務局の確立による事務処理の円滑化

事務部門の体制の確立を目指して、職務分掌の洗い出し、年間のスケジュール化等を行い、法人監査が滞りなく終わるように未整備部分の手直しを行います。以下は事務局会議日程（予定）です。

4/21、5/26、6/9、7/28、8/25、9/8、10/27、11/10、12/15、1/19、2/9、3/2

（3）市民の参画を得るための委員会の確立

コンサートなど一般市民と共に行事を企画段階から作り上げていきます。

(4) 理事・監事、評議員の研修実施

適正な運営をするため、役員の研修の機会を設けます。

2. 財源の開拓・確保

長期的な展望をもった事業・活動を運営していくために、自主財源の充実に努めます。

様々な活動を通じて、自主財源の確保に向けた取り組みを進めます。

2025年度 予算内訳表
(自)令和 7年 4月 1日(至)令和 8年 3月31日

勘定科目		2025年3月時点 (単位:円)				
		法人合計	法人本部	生活介護	就労継続支援B型	グループホーム
収入	就労支援事業収入	25,835,000		9,515,000	16,320,000	
	受託事業収入	9,500,000		5,500,000	4,000,000	
	喫茶事業収入	8,000,000			8,000,000	
	自主製品事業収入	1,175,000		815,000	360,000	
	菓子、調理製造事業収入	4,550,000		2,100,000	2,450,000	
	アイスクリーム製造事業収入	2,000,000		800,000	1,200,000	
	簡易受託受注事業収入	530,000		300,000	230,000	
	仕入れ商品売り上げ収入	80,000			80,000	
	障害福祉サービス等事業収入	205,260,000		81,400,000	67,000,000	56,860,000
	自立支援給付費収入	172,340,000		75,000,000	54,000,000	43,340,000
	介護給付費収入	75,000,000		75,000,000		
	訓練等給付費収入	97,340,000			54,000,000	43,340,000
	利用者負担金収入	400,000		400,000		
	特定費用収入	13,520,000				13,520,000
	その他の事業収入	19,086,000		6,000,000	13,000,000	86,000
	補助金事業収入	19,000,000		6,000,000	13,000,000	
	借入金利息補助金収入	150,000		30,000	120,000	
	経常経費寄附金収入	4,050,000	1,500,000	50,000	2,500,000	
	受取利息配当金収入	41,000	25,000	3,000	13,000	
	その他の収入	1,893,000	1,522,000	125,000	160,000	86,000
	その他の収入	100,000			100,000	
	受入研修費収入	35,000		25,000	10,000	
	利用者等外給食費収入	76,000				76,000
	雑収入	1,682,000	1,522,000	100,000	50,000	10,000
事業活動収入計(1)		237,229,000	3,047,000	91,123,000	86,113,000	56,946,000
事業活動による収支	人件費支出	151,256,280	218,000	70,000,000	47,300,000	33,738,280
	役員報酬支出	218,000	218,000			
	職員給料支出	60,320,000		34,000,000	21,000,000	5,320,000
	職員賞与支出	15,550,000		8,500,000	6,000,000	1,050,000
	非常勤職員給与支出	53,860,000		17,000,000	13,000,000	23,860,000
	退職給付支出	3,628,280		1,500,000	1,200,000	928,280
	派遣職員支出	100,000			100,000	
	法定福利費支出	17,580,000		9,000,000	6,000,000	2,580,000
	事業費支出	19,475,020		6,180,020	5,365,000	7,930,000
	給食費支出	3,840,000				3,840,000
	保健衛生費支出	1,000,000		500,000	500,000	
	被服費支出	40,000		20,000	20,000	
	教養娯楽費支出	200,000		100,000	100,000	
	水道光熱費支出	5,490,000		1,300,000	2,000,000	2,190,000
	消耗器具備品費支出	1,280,020		20	480,000	800,000
	保険料支出	626,000		50,000	300,000	276,000
	賃借料支出	3,245,000		3,000,000	245,000	
	教育指導費支出	100,000		50,000	50,000	
	葬祭費支出	20,000		10,000	10,000	
	車輛費支出	2,570,000		1,000,000	1,500,000	70,000
	業務委託費支出	234,000				234,000
	雑支出	720,000		100,000	100,000	520,000
	地域交流費支出	110,000		50,000	60,000	
	事務費支出	25,470,000	1,822,000	4,665,000	7,545,000	11,438,000
	福利厚生費支出	320,000		130,000	170,000	20,000
	職員被服費支出	60,000		10,000	50,000	
	旅費交通費支出	100,000	50,000	20,000	30,000	
	研修研究費支出	200,000		135,000	65,000	
	事務消耗品費支出	492,000	20,000	200,000	200,000	72,000
	印刷製本費支出	270,000	250,000	10,000	10,000	
	修繕費支出	600,000		100,000	500,000	
	通信運搬費支出	1,111,000	15,000	300,000	300,000	496,000
	会議費支出	20,000		10,000	10,000	
	広報費支出	600,000	100,000	250,000	250,000	
	業務委託費支出	3,000,000		1,500,000	1,500,000	
	手数料支出	310,000	10,000	130,000	130,000	40,000
	保険料支出	260,000	60,000	100,000	100,000	
	土地・建物賃借料支出	14,360,000		660,000	2,900,000	10,800,000
	租税公課支出	1,260,000	56,000	600,000	600,000	4,000
	保守料支出	250,000	50,000	100,000	100,000	
	渉外費支出	10,000			10,000	
	諸会費支出	47,000	11,000	10,000	20,000	6,000
	雑支出	2,200,000	1,200,000	400,000	600,000	
	就労支援事業支出	25,875,000		9,515,000	16,360,000	
	就労支援事業販売原価支出	25,835,000		9,515,000	16,320,000	
	就労支援事業販管費支出	40,000			40,000	
	事業販管費支出	40,000			40,000	
	支払利息支出	100,000			100,000	
	その他の支出	3,000			3,000	
	利用者等外給食費支出	3,000			3,000	
事業活動支出計(2)		222,179,300	2,040,000	90,360,020	76,673,000	53,106,280
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		15,049,700	1,007,000	762,980	9,440,000	3,839,720

2025年度 予算内訳表

(自)令和 7年 4月 1日 (至)令和 8年 3月31日

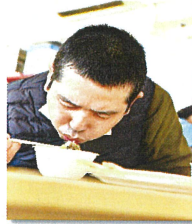
2025年3月時点 (単位:円)

勘定科目		法人合計	法人本部	生活介護	就労継続支援B型	グループホーム
施設整備等による収支	収入					
	施設整備等補助金収入	150,000			150,000	
	設備資金借入金元金償還補助金収入	150,000			150,000	
	施設整備等収入計(4)	150,000			150,000	
	支出					
	設備資金借入金元金償還支出	1,540,000			1,540,000	
その他の活動による収支	収入					
	固定資産取得支出	7,300,000		100,000	7,200,000	
	車両運搬具取得支出	5,000,000			5,000,000	
	器具及び備品取得支出	300,000		100,000	200,000	
	施設整備等支出計(5)	8,840,000		100,000	8,740,000	
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 8,690,000		△ 100,000	△ 8,590,000	
その他の活動による収支	収入					
	積立資産取崩収入	500,000			500,000	
	修繕積立資産取崩収入	500,000			500,000	
	その他の活動収入計(7)	500,000			500,000	
	支出					
	積立資産支出	700,000		350,000	350,000	
その他の活動による収支	収入					
	退職給付引当資産支出	700,000		350,000	350,000	
	その他の活動支出計(8)	700,000		350,000	350,000	
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△ 200,000		△ 350,000	150,000	
	予備費支出(10)	1,312,980		312,980	1,000,000	
	当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	4,846,720	1,007,000			3,839,720
前期末支払資金残高(12)		141,110,172	55,036,904	36,229,740	41,090,528	8,753,000
当期末支払資金残高(11)+(12)		145,956,892	56,043,904	36,229,740	41,090,528	12,592,720

一年間の活動日誌

2024年4月1日～2025年3月31日

法人本部の活動



- 4 | 2 将来構想プロジェクト①
8 法人事務局①
27 会報発送〈No.193〉
きょうだいの会

- 5 | 27 法人事務局②

- 6 | 2 グループホームDAISUKI開所式
8 理事会①
12 将来構想プロジェクト②
22 会報発送〈No.194〉
23 提示評議委員会
24 法人事務局③

- 7 | 8 リスクマネジメント委員会①
22 法人事務局④

- 8 | 1 将来構想プロジェクト③
24 会報発送〈No.195〉
26 法人事務局⑤
28 リスクマネジメント委員会②

- 9 | 2 将来構想プロジェクト④
法人事務局⑥
14 理事会②
27 会計士来所

- 10 | 21 将来構想プロジェクト⑤
26 会報発送〈No.196〉
きょうだいの会
28 法人事務局⑦

- 11 | 2 将来構想拡大プロジェクト
18 法人事務局⑧
20 会計士来所
27 将来構想プロジェクト⑥
30 理事会③

- 12 | 16 法人事務局⑨
21 会報発送〈No.197〉
26 会計士来所
28 冬休み（～1/5）

- 1 | 6 法人事務局⑩
16 将来構想プロジェクト⑦
18 理事会④
22 会計士来所

- 2 | 1 第29回「餅つき会」
17 法人事務局⑪
22 会報発送〈No.198〉

- 3 | 8 きょうだいの会
10 法人事務局⑫
15 理事会⑤
17 将来構想プロジェクト⑧
22 評議委員会①
30 支える会主催：お花見会

しごと場大好き



- 4 | 1 令和6年度通所式
3 職員会議
9 ドクターの健康チェック
10 下半期ボーナス支給
15 音楽療法
16 理学療法士来所
22 言語聴覚士来所
リスクマネジメント委員会
27 ファミリー
29 第45回「大好き市」
30 大好き市代休

- 5 | 7 福祉の窓配布開始
8 調布特別支援学校職業体験①
職員会議
13 クリーンウォーク
14 理学療法士来所
みんなを守ろう委員会
15 三菱UFJ銀行研修受入れ（～16日）
18 パルコ前販売会（・19日）
20 内部研修：「吐しゃ物講習会」（・27日）
リスクマネジメント委員会
22 調布特別支援学校職業体験②
内部研修：サボカレ「ダウン症」①
内部研修：サボカレ「ダウン症」②
25 ファミリー
26 親子まつり出店
27 グループ活動・言語聴覚士来所
30 調布特別支援学校職業体験③
31 たづくりまつり参加（～6/2日）

6	3 避難訓練・リスクマネジメント委員会 5 職員会議 10 音楽療法 11 ドクターの健康チェック 14 新任者研修(1名参加) 15 味スタ感謝祭出店 16 F C東京調布の日出店 17 内部研修：みんなを守ろう委員会主催 18 理学療法士来所 22 ファミリー 24 グループ活動 27 研修：1名参加	7	1 社会体験活動（プール） 2 理学療法士来所・福祉の窓配布開始 3 職員会議 7 深大寺朝市出店 10 夏期ボーナス支給 20 小島町商栄会夏祭り出店 22 グループ活動・言語聴覚士来所 27 ファミリー・暑気払い 29 社会体験活動（プール）
8	6 サマーボランティア受入れ（・8・20・27日） 7 職員会議 11 夏期特別体制（～18日） 19 社会体験活動（買物） 20 理学療法士来所 21 調布市バラアート展（～25日） 24 ファミリー・よさこい祭り出店・踊り参加 26 音楽療法 27 ドクターの健康チェック 28 内部研修：サボカレ「記録の書き方」① 29 ふじみ交流プラザ装飾 内部研修：サボカレ「記録の書き方」②	9	2 総合防災訓練（引取訓練）・非常食試食 3 理学療法士来所 4 職員会議 11 支援計画会議① 12 支援計画会議② 14 桐朋芸術短期大学文化祭出店（・15日） 18 支援計画会議③ 19 支援計画会議④ 21 ファミリー・ほりで～ぷらん 24 慈恵医大実習生受入れ（～27日） 28 組み紐サークル展参加（～30日） 桐朋学園文化祭出店（・29日） 30 グループ活動・言語聴覚士来所 「スポーツやってみよう」参加 慈恵医大実習生受入れ（～10/4）
10	2 けやきの森学園実習生受入れ（～11日） 職員会議 5 パルコ前販売会（・6日） 10 上半期ボーナス支給 11 調布市作業所等連絡会主催「運動会」 15 けやきの森学園実習生受入れ（～25日） 20 緑ヶ丘児童館出張販売・ランチ祭り出店 21 音楽療法 22 ドクターの健康チェック 26 ファミリー・なごみ「すずかけフェスタ」出店 27 布田わくわくまつり出店 28 グループ活動・言語聴覚士来所 「スポーツやってみよう」参加 29 理学療法士来所 30 西部児童館出張販売・フードドライブ参加	11	3 ノーブラネットノー東京出店 5 市役所ロビー展（～15日） 職員健康診断開始 6 職員会議 11 映画鑑賞「インサイドヘッド2」 12 理学療法士来所 14 みんなを守ろう委員会 18 KURUMIRU事業所販売（～29日） 21 第三者評価職員説明会 23 北ノ台ネットワーク朝市出店 25 グループ活動・言語聴覚士来所 KURUMIRU見学 26 インフルエンザ・コロナワクチン集団接種 27 内部研修：サボカレ「ストレスマネジメント」① 教員見学会受入れ 28 内部研修：サボカレ「ストレスマネジメント」② 30 ファミリー
12	2 避難訓練 3 理学療法士来所 4 職員会議 5 メンバー健康診断 7 福祉まつり出店 8 青赤ストリート出店 9 社会体験活動（買い物） 内部研修：みんなを守ろう委員会 10 冬期ボーナス支給 11 第三者評価利用者調査（・12日） 16 音楽療法 17 ドクターの健康チェック 21 ファミリー 23 クリスマス会 27 大掃除・納会ミーティング 28 冬休み（～1/5）	1	6 仕事始め 8 職員会議 9 ふじみ交流プラザ装飾 げんきアート（～28日） 14 第三者評価訪問調査 18 ほりで～ぷらん 20 成人を祝う会・初詣 21 理学療法士来所 23 臨時閉所（～26日） 25 ファミリー注視 27 言語聴覚士来所 28 けやきの森学園実習生受入れ（～2/7）
2	3 生け花講習会（講師：国際ソロプチミスト東京-調布） 5 職員会議 10 けやきの森学園実習生受入れ（～21日） リスクマネジメント委員会 16 ほりで～ぷらん 17 音楽療法 18 理学療法士来所 22 ファミリー 23 2024年度総括会議 25 ドクターの健康チェック	3	3 避難訓練・クリーンウォーク 5 職員会議 8 ほりで～ぷらん 12 支援計画会議① 13 支援計画会議② 18 理学療法士来所 19 支援計画会議③ 22 ファミリー 24 グループ活動・言語聴覚士来所 リスクマネジメント委員会 26 支援計画会議④ 27 消防点検（布田・国領） 30 さくらまつり出店 31 お花見・BCP研修及び訓練

Cafe大好き



4 ギャラリー企画「しごと場大好き クラフトフェア」

- 5 やさしい写真教室
- 10 下半期特別ボーナス支給

5 ギャラリー企画「しごと場大好き クラフトフェア」

- 10 やさしい写真教室

6 ギャラリー企画「愛染でらにしびーズ展」

- 3 らっきょう漬け（こぶしの会）
- 4 カフェDAISUKI 28周年ウィーク（～9日）
- 7 やさしい写真教室

7 ギャラリー企画「ミックスリーブス ファブリック小物展」

- 10 夏期ボーナス支給
- 12 やさしい写真教室

8 ギャラリー企画「組み紐作品展」

- 2 やさしい写真教室
- 11 夏季休業（～18日）
- 25 組み紐ワークショップ

9 ギャラリー企画「ポンテ ちぎり絵展」

- 6 やさしい写真教室

10 ギャラリー企画「Ichigo アクセサリー雑貨展」

- 4 やさしい写真教室
- 10 上半期特別ボーナス支給

11 ギャラリー企画「なし」

- 1 やさしい写真教室
- 18 下石原地域のつどい出店

12 ギャラリー企画「ミックスリーブス展」

- 6 やさしい写真教室
- 7 福祉まつり出店
- 10 冬期ボーナス支給
- 27 冬季休業（～1月6日）

1 ギャラリー企画「新聞ちぎり絵はこんなに面白い！展」

- 10 やさしい写真教室
- 21 調布FM生放送取材
- 25 新聞ちぎり絵ワークショップ

2 ギャラリー企画「しごと場大好き ねこまつり」

- 7 やさしい写真教室

3 ギャラリー企画「グループKui展」

- 7 やさしい写真教室



2025年度 役員体制

2025年8月現在

役職名	氏 名	所 属 等
理 事 長	原 良男	保護司
理 事	杉本 勝	上布田自治連合会副会長
理 事	増淵 貞夫	利用者保護者
理 事	小山 嘉克	北浦自治会会長
理 事	山口 祐二	民生児童委員
理 事	山本 良子	保護司
理 事	亀田 良一郎	「しごと場大好き」施設長
理 事	里見 知俊	利用者保護者
評議員	石井 和男	弁護士
評議員	斎藤 央	調布市作業所等連絡会事務局
評議員	深見 圭子	「しごと場大好き」組み紐講師
評議員	市村 研一	調布市社会福祉協議会職員
評議員	宮崎 豊和	市民有識者
評議員	普後 均	利用者保護者
評議員	清野 豊広	利用者保護者
評議員	三笥 るみ子	利用者保護者（こぶしの会）
評議員	堀内 治子	利用者保護者（こぶしの会）
監 事	大村 洋	地域福祉関係者
監 事	荒川 美由紀	利用者保護者

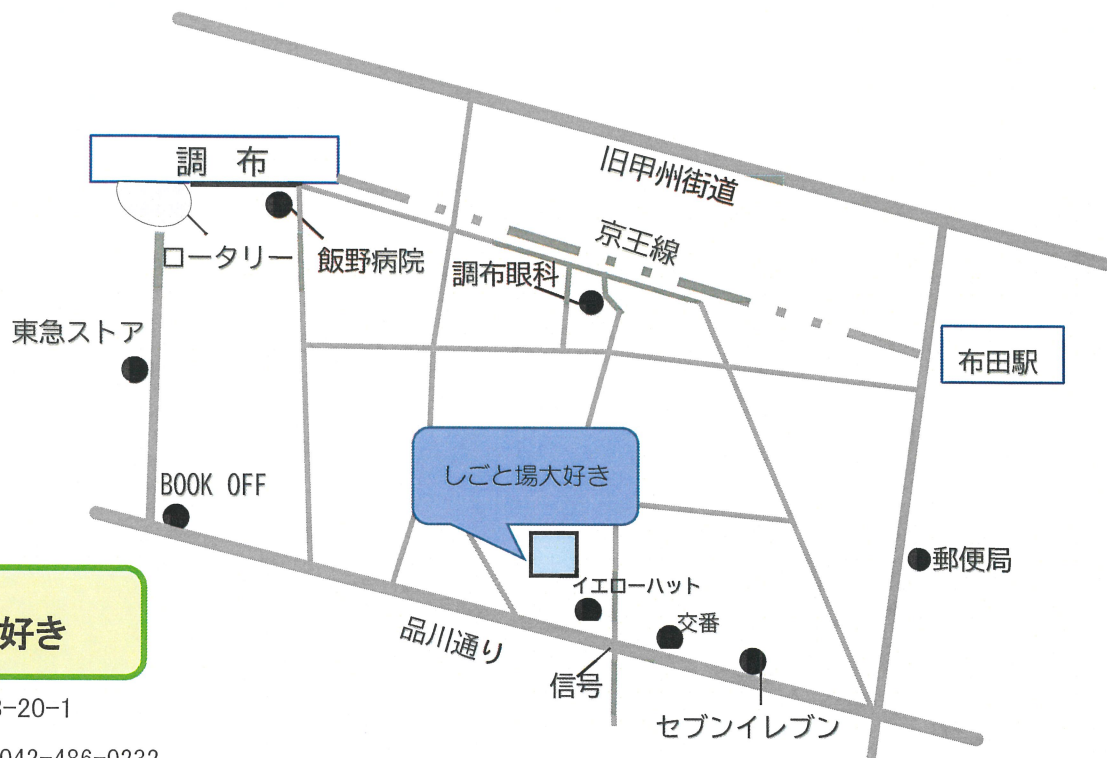
■事務局スタッフ

役職名	氏 名	所 属 等
事務局長	内田 喜則	グループホームDAISUKI所長
事務局員	松本 貴匡	しごと場大好き国領 職員
事務局員	後藤 朋子	しごと場大好き 職員

しごと場大好き

東京都調布市布田 3-20-1

tel042-486-1022 fax042-486-0232



京王相模原線 ← 京王多摩川 → 至調布

交番

ローソン

駅前広場

銀行

和食の店 花

Café 大好き

こちら

郵便

*駐車場はありません
お車はご遠慮ください

カフェ大好き

東京都調布市多摩川 5-7-4 京王多摩川 88ビル 1F

tel/fax042-481-3933

ファミリーマート

調布・布田

品川通り

国領4丁目信号

国領7丁目

タイヤ館

山梨中央銀行

コインランドリー

多摩川住宅

しごと場大好き 国領

東京都調布市国領町 7-17-26

tel/fax042-444-3733



2025年10月

社会福祉法人 調布を耕す会

住所 東京都調布市布田3-20-1

TEL 042(486)1022 FAX 042(486)0232

✉ tagayasukaijp@yahoo.co.jp

HP <http://www.tagayasukai.com>